

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
92

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO



発行日：2024年2月29日
発行：せとうちDMO
発行人：遠藤・穂本
住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

SETOUCHI REFLECTION TRIP

瀬戸内Finder

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

<https://www.setouchi.travel/en/>

<https://www.setouchi.travel/jp/>

せとうちエリアマーケット研究会を開催しました！

せとうちDMO及び中国運輸局、観光庁、日本政府観光局（JNTO）の4者で主催する「せとうちエリアマーケット研究会」が2月9日（金）、中国運輸局会議室にて開催されました。

研究会にはJNTO田中ロサンゼルス事務所長をお迎えして、米国市場における訪日旅行の状況や高付加価値旅行者層の旅行トレンド、ロサンゼルス事務所の取り組み等についてご講演いただきました。

また、質疑応答や個別相談会も実施し、地域が抱える問題やこれから取り組むべき課題等について、コミュニケーションを通して学び合う場とすることができました。



講演者のJNTO田中ロサンゼルス事務所長

Program



講演・質疑応答で参加者とコミュニケーションを図る田中事務所長

Section 1

講演・質疑応答（15:00～16:00）

欧米豪5か国における富裕旅行消費額が最大規模で、訪日旅行の意欲も高いため、米国市場が非常に高いポテンシャルを有していることを紹介。

鮮度ある情報に、参加者の皆さまも田中事務所長の講演内容を聞き入っていました。



個別相談会で参加者の話に耳を傾ける田中事務所長

Section 2

個別相談会（16:00～17:00）

「1つの観光スポットが人気になりすぎて、その他の観光スポットがなかなか注目されない。」

各地域が抱えるインバウンド観光への悩みや課題はそれぞれです。地域の現状を相談し、解決に向けて田中事務所長と参加者の皆さままでざっくばらんに意見交換を行いました。

参加者の声を一部紹介

- ☑ 対面式での開催で良かったです。JNTO海外事務所長と直接お話し・お会いできる機会は貴重で、情報もかなり新鮮でした。
- ☑ ご講演内容はとても分かりやすく、JNTOの活動状況も知ることができました。直接アドバイスもいただき、その内容を今後のインバウンド観光の取り組みに活かしていきます。

京都市観光協会 (DMO KYOTO) 主催の研修に参加しました！

京都市観光協会が主催する「観光地域づくり研修」に参加し、持続可能な観光体験や歴史・文化を活用した高付加価値な体験の開発事例の取り組みを実際に見学・体験し、先進的な取り組みを学びました。

1日目：京都市観光案内所・京都駅タクシー乗り場の説明やGood Nature Stationのサステナブルツアー等を体験

インバウンドが多い京都駅では、インバウンド対応が可能なタクシーへの誘導が案内板により分かりやすく設置されていたり、駅からホテルへの荷物配送を実施するなど観光客の利便性を意識した取り組みが見られました。

京阪グループが運営する「GOOD NATURE HOTEL KYOTO」では、プラスチックゴミの削減や循環型社会の実現をコンセプトにアメニティの配布の取りやめや施設内で発生した生ごみを館内に設置したコンポストで、たい肥化し、契約農家で米を生産。ホテルで利用するお米の循環プロジェクトを行っていたりとサステナブルな取り組みを学びました。

2日目：二条城ガイドツアー体験、旧三井家下鴨別邸非公開エリアを含む見学や仁和寺特別公開箇所等の見学

京都市観光協会が取り組む「京都市認定通訳ガイド」によるガイド体験や通常公開されていない旧三井家下鴨別邸の2階の見学を体験しました。

世界遺産・仁和寺では、1泊100万の宿坊や仁和寺が手掛ける最新技術等の見学・説明を受けました。

◆行程(2/8木~2/9金の1泊2日)

1日目：JR京都駅観光案内所等見学・説明→Good Nature Stationのサステナブルツアー→京都市観光協会の取組について講義→ギオンコーナー鑑賞体験

2日目：二条城ガイドツアー体験→旧三井家下鴨別邸非公開エリアを含む見学→仁和寺特別公開箇所等の見学・説明



一般社団法人キタ・マネジメント主催研修「DMOを核とした産官金連携による観光まちづくり<愛媛県大洲市>」へ参加しました！

この度、観光庁の令和5年度「観光地域づくり法人の体制強化」事業の「中核人材の確保及び育成」メニューを活用し、2月14～16日の3日間、一般社団法人キタ・マネジメント主催研修である「DMOを核とした産官金連携による観光まちづくり<愛媛県大洲市>」へ参加しました。

この研修では、DMOを核とした官民（産官金）連携の重要性について学び、実際の現場での取り組みを通じて、地域資源の活用や観光の振興における先進的な取組について学ぶことができました。また、この研修には、北は東北、南は九州の多様なDMOが参加しており、参加者同士での交流や情報交換等により新たなリレーションを構築でき、こちらも非常に良い経験となりました。そして、地域住民や企業の方々との関わりの中で、大洲市の魅力を再発見させていただきました。



▲大洲城



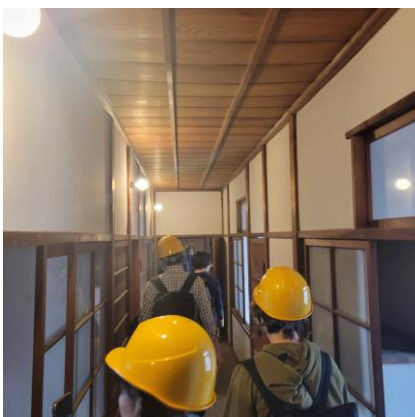
▲研修の様子



▲NIPPONIA HOTEL 大洲 城下町

大洲市での取り組みは、如何にこの街並みを再生し、将来に維持していくかという点に収斂されており、観光やDMOといったものは、あくまで地域の課題を解決する為の手段であるという日々業務を行う中で忘れがちとなる点について再認識させていただきました。

我々広域連携DMOとしても、引き続き、域内外のエリアでの活動取組等を集約し、地域の思いを十分理解して日々業務に取り組んでまいりたいと思います。



◀古民家再生の様子を視察



◀臥龍山荘におけるガイディング

～「瀬戸内海国立公園指定90周年」を迎えるにあたって～ 環境省との取り組みを進めてまいります！

1934年、瀬戸内海国立公園は我が国最初の国立公園として指定されました。日本最大の内海文化が形成した島々が点在し、自然と暮らしが調和して織りなす美しい景観、せとうちの魅力の大きな1つであり「多島美」と表現されています。

それから月日は経過して2024年、今年は「瀬戸内海国立公園指定90周年」の佳節にあたります。

国立公園の魅力発信によって、国立公園利用者の拡大・環境保全の理解を深めることを目的として、環境省は企業・関係団体と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しており、せとうち観光推進機構は2019年に山陰インバウンド機構等とともに、登録DMOとして初めて締結しました。

瀬戸内国立公園指定90周年を迎えるにあたって、当機構は環境省との連携を進めていくことで、せとうちの魅力・美しさのPRを通して、認知拡大及び域内の誘客・観光需要の向上を促進してまいります！

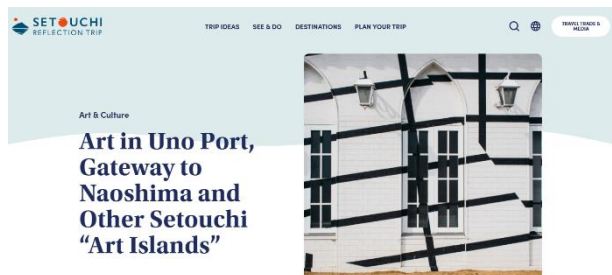
国立公園パートナーシップにおける当機構が果たしてきた役割

☑ 海外向け情報発信サイト「SETOUCHI REFLECTION TRIP」にて、瀬戸内海の魅力に繋がるような情報発信を実施しました。

➤ 「SETOUCHI REFLECTION TRIP」のリンクはコチラ

<https://www.setouchi.travel/en/>

☑ 「第16回 国立公園満喫プロジェクト有識者会議」にて、当機構坂元事業本部長がゲストスピーカーとして出席しました。



直島のゲートウェイとして岡山県の宇野港を紹介しました。

これからの取り組み

環境省や近畿・中国四国地方環境事務所等と交流・協議を行いながら、具体的な取り組み・連携内容を模索していきます。

2月1日(木) 近畿・中国四国地方環境事務所の皆さまとオンラインミーティング

2月14日(水) 真鍋会長・坂元事業本部長、中国四国地方環境事務所を訪問し、意見交換

and more...

「瀬戸内海国立公園指定90周年」の認知拡大を目指します！

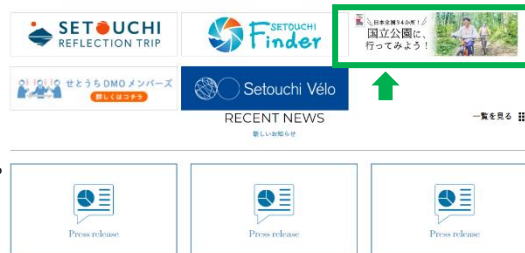
認知拡大の第一歩として、

1. 「瀬戸内海国立公園指定90周年」のシンボルマークの積極活用
名刺や講演資料、本ニュースレターでも積極的に活用することで認知拡大に努めます。
2. せとうちDMOコーポレートサイトに環境省「国立公園に、行ってみよう！」のリンクバナーを掲載しました。

バナーをクリックしたら、瀬戸内海国立公園のページに直接リンクします。

➤ せとうちDMOコーポレートサイトのリンクはコチラ

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>



～株式会社MIMAチャレンジを子会社化～ 瀬戸内の観光地経営の知見を融合し、美馬市の地方創生を推進

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションは、徳島県美馬市の「うだつの町並み」において古民家宿泊事業及びイタリアンレストラン事業を営む株式会社MIMAチャレンジ（本社：徳島県美馬市 代表取締役 片岡久議。以下「MIMA社」）の発行済全株式を取得し、完全子会社化いたしました。

MIMA社は、美馬市の地方創生を進めるため、地元企業や自治体、そして都市部の経営者と協働し、持続性の高い枠組みで推進していくことを目的とした「MIMAチャレンジプロジェクト」の中心を担う企業として活動し、行政や地域住民からの信頼関係も厚い企業です。本事業を通して美馬市が2017年に総務大臣表彰を受賞、また総務省主催の令和5年度の「ふるさとづくり大賞」においてMIMA社が団体表彰を受賞するなどの実績を重ねています。以上のことから、MIMA社をSBCのグループに加えること

は、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指すせとうちDMOにとって意義のあることと考えています。今後は、MIMA社の施設運営のノウハウに当社のもつ観光地経営の知見を融合させることで地域の更なる発展と、瀬戸内エリア全体の観光産業の発展に寄与できるよう事業運営に努めてまいります。



※うだつの町並み

【MIMA社が運営する施設】

○古民家ホテル “Paysage MORIGUCHI”
美馬市の観光地である「うだつの町並み」の中の100年以上の歴史を持つ古民家を、かつての趣を残してホテルに改装。全5部屋を用意し、観光地の中に泊まれるホテルとして注目されています。

HP mima-moriguchi.jp/top_en/



○イタリアンレストラン “Punta”

イタリア語で“先端”という意味を持つ“Punta”は、地域で一番愛される最先端のイタリアンレストランを目指して開業いたしました。東京・六本木にある、ヒブグルマンにも選出されたイタリアンレストランのオーナーシェフ監修の料理を提供し、これを目当てにうだつの町並みにいらっしゃる方も増えており、地域活性化にも貢献しております。

HP <https://www.punta-mima.com/>

瀬戸内アカデミー報告

瀬戸内アカデミー：

第97回「持続可能な観光（サステナブル・ツーリズム）の正しい理解」

昨今、観光の分野でもサステナビリティが重視され、「持続可能な観光」や「サステナブル・ツーリズム」という言葉がよく聞かれるようになってきました。

2023年3月に政府が閣議決定した新たな『観光立国推進基本計画』では、「持続可能な観光地域づくりに取り組む地域」の数を、2025年までに100地域（そのうち50地域を「国際認証・表彰地域」）にするという目標値が掲げられています。

では、「持続可能な観光地域づくりに取り組む地域」とは地域がどういう状態にあることなのでしょう？
そもそも、どのように現場に取り入れていけばよいのでしょうか？

今回の瀬戸内アカデミーでは、その正しい理解に役立つ知識や事例などを認証・表彰制度を中心にご紹介いただきました。



- ◆日時：2024年1月25日（木）14時～15時
- ◆講師：一般社団法人サステナビリティ・コーディネーター協会
業務執行理事 久保 竜太（くぼりゅうた）氏

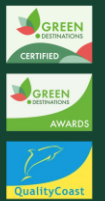
持続可能な観光の国際認証・表彰制度

- ✓ GSTCにより認定等を受けた第三者機関が提供するプログラム
- ✓ (1)観光地、(2)旅行会社、(3)宿泊施設を対象に認証ラベルや表彰ラベルを付与する様々なプログラムがある
- ✓ 認証団体によって、評価基準（構成・項目数）や認証・表彰の制度設計が異なり、それぞれの特徴がある



グリーン・デスティネーションズ 認証&表彰制度

Green Destinations Awards and Certification Program



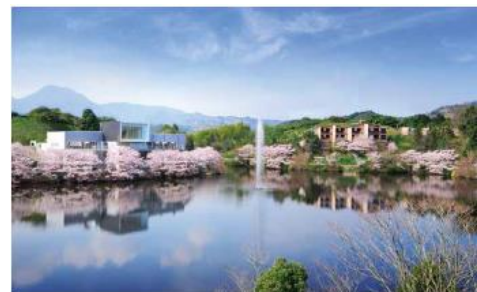
瀬戸内アカデミー：

第98回「高付加価値旅行者向け宿泊施設のこだわりとは？」

今回、ご講演をいただきました越智様は、ホテル業界とは全く縁もなかったにもかかわらず、高価格なホテルを2軒もつくり上げてこられました。それらのホテルは、自然とアートとの融和が作り出す、まさに現代の桃源郷。その結果、全国の有名メディアに注目をされ、愛媛県No.1のホテルと評価されるまでになりました。

そして今、新たなプロジェクトを進めておられます。

この度の瀬戸内アカデミーでは、その越智様のこだわりやこれまでの取り組みについてお話をいただきました。多くの方にご参加頂き、盛況に終えることができました。



・ TOBE オーベルジュリゾート
<https://www.tobe-resort.com/>

- ◆日時：2024年2月8日（木）14時～15時
- ◆講師：TOBE オーベルジュリゾート
atelier O-HUIS オーナー 越智 仁文 氏



・ atelier O-HUIS
<https://o-huis.com/>

【株主情報 紹介】 新・高松駅ビル「TAKAMATSU ORNE」3月22日（金）グランドオープン!!

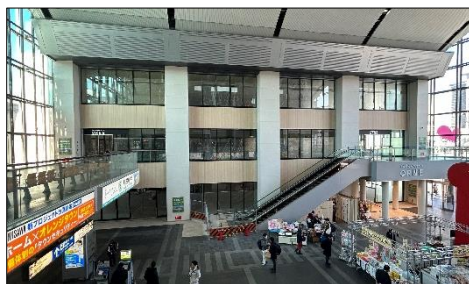
TAKAMATSU ORNE（高松オルネ）は「県都高松の玄関口として、“時間”と“こと”を楽しみながら“ここが目的地、出発地”となる施設」を開発テーマに、2022年3月から建設してまいりました。このたび開業を迎えられることは、関係者および地域の皆様のご理解とご協力の賜物であり厚く御礼申し上げます。



新駅ビルが位置するサンポート高松エリアは、広域交流拠点として、多様な都市機能の集積と高度化を推進し、賑わい空間の創出が図られてきました。また、新駅ビル以外にも香川県立アリーナ、徳島文理大学高松駅キャンパスおよび外資系最高級ホテルの建設も進められており、人流の更なる増加が予想され「人が集まり、賑わいあふれるエリア」の実現を目指しています。

新駅ビルの名称「ORNE（オルネ）」は、西日本では「いる」という言葉を「おる」といい、四国でも「おるね」は広く使われている言葉（方言）です。言葉の響きがやわらかく、どこか懐かしく、親しみやすく、四国らしいと感じてもらえることから「ORNE（オルネ）」としました。

JR四国グループは、県都高松の顔にふさわしく、交流の促進、賑わいの創出および観光振興の一翼が担えるよう、今後も地域の皆様に喜ばれ、地域の一層の活性化に寄与することを目指してまいります。



所在地：香川県高松市浜ノ町1-20、1-52

事業会社：四国旅客鉄道株式会社、JR四国ステーション開発株式会社

店舗数：60店舗

営業時間：10:00～20:00 ※一部営業時間が異なる店舗がございます。

駐車台数：166台

駐輪台数：385台

【JR四国SCアプリ】

